
Be Mine...

礼佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

B e M i n e . . .

【Nコード】

N 7 5 7 8 A

【作者名】

礼佳

【あらすじ】

なんとなく始まる私生活。でもみんな同じじゃないよね。

you

財布無くした

今日に限ってこれはないでしょ

受験生の夏が始まり2日目

嫌なことばかり

とか思う自分がうざいらしく

笑顔で笑ってられる

あたしは『あたしだけ』『疲れた』と言う言葉が嫌いだ

そもそもなぜ自分だけがそうなってると思ってるのか気がしれない
疲れた？

中学生はまだ楽なほうだと思う

思春期嫌ですよ

受験も

あ

あとニュースとかね

国の処置がとかお前はどうなるんだと思う

事が起きてからグチグチ言う大人達

責任を負わせるのがそこまで好きなのかと

そんなこんなで送っている人生

くだらなくなるね

まあしょうがない

中学生

そう

あたし中学三年生

現実逃避な世の中で

受験と言っのが生々しい

あたしはコロナビアハイスクールに行きたいのだから賛成の意見が聞こえない

どうして頭の良さにこだわるのだろうか

お金ならだす

かっこがついてないよ

ママ

me

塾行ってきました

やっぱり居場所かなと

自分でも何もとめてるかわからないけど居心地がいい
自分が生かされているからかな

塾には良平がいる

愛してる

恋人でもない彼だけど

相変わらず気持ちは変わらない

あたしは人との価値観の違いが激しい

みんなは恋愛対象ぐらいではないと『好き』『愛してる』などを使
わない

そこがまったく不思議で

適当に愛してるなどと言ってしまうとえらい勘違いを生んでしま
うなにかいけないのかな

勇樹と言うダチがいる

だかそいつはあたしのことが好きだ
いつもメールしてきては

『あいつのことどー思う?』なんて

大好き 好き 嫌い の3つで丸くおさめるのが好きなあたしは大
好きと答えた

そしてあたしはその日から『チャライ』と言う設定だ

何もわかっていないくせに

勇樹は今席が隣であたしのことをずっと睨みつけてくる
いったいなにかしたいんだか

そういうことであたしは人と違う
それをわかってほしい
あれ

こんな話だったかな

ともかく良平はあたしの心の支えであって

大事な存在だ

恋愛対象ってわけでもない

手を触れ合ったり耳で囁かれたりする時があるが何も思わない
まあそんなものだろう

塾には真保がいる

所謂親友で

真保は良平のことが好きだ

いくらあたしのものにしたいくても
奪うことはできない

人間としてのルールというものは今までの経験上わかってきたはず
であり

この選択肢は間違っていないであろう

それでも血迷う時があります 笑

わかってるつもりなのだが

人間欲望には負けますね

困ったものです

良平は我慢できますよ

週に3回の男ですから

昔翔太を奪ったことがある

森田が翔太を好きだった

相談も聞いてたし応援していた

ただどあたしのことを好きになった翔太が欲しかった
我慢できなくなり

一夜にして手を出した

まあたいした男ではなかった

ひ弱なところがどうも気に入らなくて

3ヶ月で別れた

あたしは当時これが悪いことだとは思わなかった

世間で言う最低？笑

でもあたしを好きになったのだからいいと思う

そういうわけで森田は全然大切ではなかったということが判明し

夏休み前に喧嘩をした

森田がいうには『チャライ』『矛盾』が喧嘩の要因だということ

さようなら 笑

まあどうでもいい

ですから

真保は大切な人なのです

真保の半分は優しさでできています

それぐらいいい子なので捨て難い

今日は真保のため

なのか…

家付近まで送った

お題はもちろん

良平

愛する（？）人を褒めてくれるのは嬉しいのだがやっぱり嫉妬心？

が湧いてくるもので

あたしの良平とらないで

などと叫びたくなる

わかってますよ

大丈夫

A m

真保はあたしに気を遣いつつ主張してるふうに思える

塾で良平はあたしの後ろ

いつも二人で喋っていたりすると睨んできたりして

友情って恋愛に負けてしまうようなものなのかと思うと悲しい

きつと真保があたしに『良平が好き』と言ったのはあたしに獲られないようにだと思う

早めに言っておけばあたしも良平が欲しいなどとは言えない
でも

恋愛がしたいのではなく

愛されただけなのです

こんなふうに思う中学生がいないからあたしのこと『チャライ』ってゆう一言に押し込むのかな

別に遊んでいるわけじゃないのに

人を愛したのなんて一回しかない

中学生が愛するの意味をわかってるのかなんて思うが

この恋愛は半端ではなかった

忘れられなくていまだにあの人を探している

麻生 愁。これは本名ではない

HNだ

ということ

ネット上の人間

あたしのネット人生はなかなかなものだと思う
小5の冬

森山未　にはまり情報を得たかつたらしくPCを電話線で繋いでやっていた

なつかしいね

電話代2万使いました　笑

そのおかげでYahoo繋げてもらったんだけどね

そこから未　君ファンサイトなどに通ったりファンレターを送ったりして

楽しかった

そのサイトつぶれちゃって行くところになったあたしは知らない間に2ちゃんねるへ　笑

小5で気付かずネラーやってました

それも楽しかったな

そして前　プロフと言うものをしり長年愛用してました
そこで知り合ったのが愁

愁はあたしと同一年の中1だったかな

写メも貼ってなくて

謎の多い子だった

その魅力に惹かれたのか

プロフに書いてあった言葉

文章力に惹かれたのか

書き込みをした

当時のあたしは自分のことを『俺』と言っていたため

愁はあたしを男だと思っていた

あたしはどうしても愁をものにしたかったのか

彼氏になつてと言ってみた

すんなりOKした愁にびっくりした

それはあたしが男だと思ってふざけていったと思ったらしい

そして

制服の話をしている時にあたしの性別に気付いた
愁が

『俺んとこブレザーでさ

ズボン灰色なんだよね

きたねえ灰色だから気に入らない』

と書き込みがありあたしは

『俺の制服まぢきもい

スカートとかはいてらんねえよー』

と書き込みをしたとたん

態度が変わった

あたし隠してたつもりないよ？笑

お前女だったら話は違うと

ずいぶん存在が遠退いた気がした

ネットは怖いですね

そしてあたしは普通の『ダチ』と言う設定になった

それからは毎日会いたくて

つていつてもネット上ですが

家でヒッキーしてました

パケホじゃないママの携帯から更新したりして

頭には『愁』の文字しかなかった

あいつはほんとに謎

神奈川住みの奴で顔不詳

来年にはドイツに行くとかなんとか

髪は真っ赤で色白

すべて自称だからわからない

本名もわからなかったし

本人は大人だったのかもしれない

それでも信じつづけている

人を信じることができないあたしが1番信じている人だ

愁の日記にはいつも素敵なことが書かれていた
信じがたい話もたくさんあった

アメリカでの生活

学校

婚約者

親

バンド

どれが嘘なのかわからないので全て信じた
愁がいったことは全て信じた

気持ちが入りすぎて

もつと知りたくなって

やはり最後は

ものにしたい

という結末になり

あたしは愁をしめつけた

一度会いたいと言った

何も返事ができないスルーをした

うますぎて言葉がでなかった

人とのふれあいがうまい

言葉をあやつれる子だ

人を傷つけず

期待させない

人間関係がああ歳であれだけうまいと将来が有望なのだろう

思い出した

一回だけ顔をみせてくれたことがある

某サッカーユースに所属していたことがあり

その集合写真を見せてもらった

ネット公開してるものだからもしかしたら違うのかもね
今のヤマピーみたいな髪形で切れ目で顔小さくて
がんをとばしてた 笑

可愛かったな

ちよつと予想通りな

なんとも言えない

やっぱりあたしのこのみですわ

欲しいですね

だけど婚約者の テリーナが！

いるのでやめときます 笑

今まではプロフを消しても日記 ブログ 書き込みはしていてくれた

呼べばいつでもきてくれた愁

悩みがあれば聞いてくれて

日記にあたしの名前をだしてくれたり

すごく嬉しかった

だがブログに一言遺して去った

It's too damn early for him to
die .

悲しかった

わけがわからない

あいつはそれ以来存在がなくなった

ブログだけを遺して

連絡先なんてしらないから何もできない

あ - あ

なんだろう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7578a/>

Be Mine...

2010年12月15日14時36分発行